

2020 年 3 月 17 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と弊社投資信託の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

弊社投資信託への影響

ファンド名	2020 年 3 月 16 日 基準価額(円)	2020 年 3 月 17 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
世界優良株ファンド(3ヵ月決算型)	8,618	7,805	▲813	▲9.43
世界優良株ファンド(毎月決算型)	9,712	8,797	▲915	▲9.42
欧州新成長国株式ファンド	4,539	4,159	▲380	▲8.37
アジア・ダブルプレミア・ファンド	8,151	7,655	▲496	▲6.09
T&D インド中小型株ファンド	7,783	7,319	▲464	▲5.96
T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルブル・コース ^{※1}	9,227	8,710	▲517	▲5.60
T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)リアルブル・コース ^{※1}	4,238	3,817	▲421	▲9.93
T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルブル・コース ^{※1}	4,136	3,848	▲288	▲6.96
T&D 通貨トレード 新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアルピアブル・コース	7,839	7,326	▲513	▲6.54
豪州高配当株ソインαファンド(毎月分配型) ^{※2}	1,421	1,269	▲152	▲10.70

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

ファンド名	2020年 3月16日 基準価額(円)	2020年 3月17日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース ^{※2}	2,631	2,185	▲446	▲16.95
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	3,410	2,887	▲523	▲15.34
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース ^{※2}	670	523	▲147	▲21.94
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)シングルα・米ドルコース ^{※2}	1,665	1,281	▲384	▲23.06
資源ツインαファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース ^{※2}	437	358	▲79	▲18.08
資源ツインαファンド(通貨選択型)トルコリラコース	511	449	▲62	▲12.13
資源ツインαファンド(通貨選択型)米ドルコース ^{※2}	760	693	▲67	▲8.82

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020年 3月13日	2020年 3月16日	騰落率 (%)
MSCI コクサイ・インデックス(米ドルベース)	1,923.67	1,726.83	▲10.23
ハンセン中国企業株指数	9,650.15	9,227.60	▲4.38
Nifty 中型株 100 指数	14,608.10	13,695.30	▲6.25
JP モルガン CEMBI ブロード・ディバーシファイド	433.21	420.43	▲2.95
iシェアーズ 米国不動産 ETF(米ドル建て)	81.15	67.46	▲16.87
S&P/ASX 200 Index	5,539.30	5,002.00	▲9.70
iシェアーズ MSCI ブラジル ETF(米ドル建て)	29.10	22.38	▲23.09
原油先物価格	31.73	28.70	▲9.55
金先物価格	1,516.70	1,486.50	▲1.99

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3月13日と3月16日を比較しています。
 JP モルガン CEMBI ブロード・ディバーシファイドは Non Investment Grade、米ドル建て、トータルリターンです。
 原油先物はWTI原油先物、金先物はCOMEX金先物の価格を使用しています。
 原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	2020 年 3 月 16 日	2020 年 3 月 17 日	騰落率 (%)
ユーロ(対円レート)	118.95	119.08	0.11
インドルピー(対円レート)	1.46	1.45	▲0.68

(小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは三菱 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)、単位は円です。

	2020 年 3 月 13 日	2020 年 3 月 16 日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	108.32	105.84	▲2.29
ブラジルリアル(対円レート)	22.45	20.98	▲6.55
豪ドル(対円レート)	67.32	64.81	▲3.74
インドネシアルピア(対円レート)	0.73	0.71	▲3.31

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3 月 13 日と 3 月 16 日を比較しています。

為替レートは、米国東部時間午後 4 時のレート、単位は円です。

米ドル(対円レート)、ブラジルリアル(対円レート)、豪ドル(対円レート)は※1 ファンドに適用しています。

インドネシアルピア(対円レート)は 100 インドネシアルピアに対するレートです。

	2020 年 3 月 13 日	2020 年 3 月 16 日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	107.16	105.66	▲1.40
豪ドル(対円レート)	65.94	64.79	▲1.74
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.2098	0.2007	▲4.33
トルコリラ(対米ドルレート)	0.1582	0.1557	▲1.54

(豪ドルと米ドルおよび騰落率は小数点第 3 位四捨五入、
 ブラジルリアルとトルコリラは小数点第 5 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3 月 13 日と 3 月 16 日を比較しています。

為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレートです。

米ドル(対円レート)と豪ドル(対円レート)の単位は円です。

ブラジルリアル(対米ドルレート)とトルコリラ(対米ドルレート)の単位は米ドルです。

米ドル(対円レート)、豪ドル(対円レート)、ブラジルリアル(対円レート)は※2 ファンドに適用しています。

出所:MSCI、JP モルガン社、スタンダード&プアーズ、ブルームバーグ

◆ 足許の市場動向

2020年3月16日の世界の株式市場は大幅下落しました。3月15日にFRB(米連邦準備制度理事会)が緊急利下げと量的緩和政策の再開を表明したものの、金融市場の懸念は収まらず、アジアや豪州および欧米で株式市場が大きく下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、EU(欧州連合)が域外からの渡航を原則禁止としたほか、カナダでも国境管理の強化が発表されたこと、トランプ米大統領が記者会見で不要不急の外出行動の自粛を呼びかけるとともに米国の景気後退の可能性に言及し、新型コロナウイルスをめぐる問題が夏ごろまで続くとの見通しを示したことなどを受けて、世界的な景気減速懸念が一層強まったことが株価の下落要因となりました。各国での国境管理の強化、経済活動や企業活動の縮小によってヒトやモノの移動が一段と滞るといって観測などから、原油先物価格が1バレル30米ドルを割込む水準まで下落し、関連銘柄や資源輸出への依存度が高い国の通貨が売られる展開となりました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大に終息の目途が立たず、世界経済に悪影響を及ぼすことが金融市場の不安材料となっています。株式市場では、世界的な金融緩和局面が長期にわたり継続していたことから世界の投資マネーが流入し、主に割高感が意識されていた銘柄が大きく売られたことなども株価指数の大幅下落につながっています。世界的な生産活動や消費の停滞が懸念される中、投資家がリスク回避姿勢を強めており、金融市場では当面変動性の高い展開が続くと想定されます。しかしながら、各国で感染拡大の影響を受ける中小企業の救済やサプライチェーンの見直しといった政策が発表されており、中央銀行も金融面での支援を表明しています。金融政策が新型コロナウイルスの感染拡大による影響を抑制する効果について懐疑的な見方も台頭していますが、各中央銀行は金融市場の安定に向けて協調姿勢を示しており、政策が企業金融を円滑化させ、多少の時間がかかったとしても金融市場の安定につながることを期待されます。感染拡大が実体経済に及ぼす影響や政策の効果を見極めながら各国が適切な対策を続けることで、投資家心理が落ち着きを取り戻すことが見込まれます。また、各国の感染拡大防止への取り組みによって新型コロナウイルス感染拡大に終息の目途が立つことで、金融市場は健全さを取り戻し、株式市場については割安となった銘柄を中心に株価が回復に向かうとみえています。原油市場については、世界的な景気減速懸念を背景とした原油需要の減少の見通しや、原油価格の下支えとなっていた産油国の協調減産の足並みの乱れへの警戒感などから当面は上値の重い展開が見込まれます。

以上

* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

* MSCI コクサイ・インデックスは MSCI が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は MSCI に帰属します。

* JP モルガン CEMBI ブロード・ディバーシファイドについて、指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は JP モルガン社に帰属しております。JP モルガン社は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガン社は指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

* iShares®(i シェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース/円ヘッジ・コース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース/円ヘッジ・コース」への投資についてならん意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

* iShares®(i シェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツイン α ファンド(毎月分配型)ツイン α ・コース/シングル α ・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツイン α ファンド(毎月分配型)ツイン α ・コース/シングル α ・米ドルコース」への投資についてならん意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額・償還金額の1.00%** または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年2.035%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】